

「ふるさとの川雑感」

青森県県土整備部河川砂防課長 笹 洋一

あおもりの川を愛する会の会員の皆様方には、日頃から青森県の河川行政に多大な御支援、御協力を頂きまして心から感謝申し上げますとともに、これまでの皆様方の地道な活動に対し敬意を表する次第です。

昨年5月の河川文化講演会では、講師の宮川慎一郎氏が「岩木川よもやま話とひろさきの櫻」と題し、一昔前の岩木川や弘前公園の様子を講演され、大変興味深く聴講させて頂きました。特に岩木川の水害の様子が印象に残りましたので、今回本誌面をお借りしまして、私の岩木川へのかかわりをご紹介します。

① 岩木川統合頭首工

私は弘前市の旧相馬村湯口出身で、岩木川の国と県の管理境界である上岩木橋からすぐのところのところに自宅があり、小学校の頃、夏になればヤスと水メガネ片手に上岩木橋上流にある岩木川統合頭首工近くの浅瀬へよく魚獲りに行きました。頭首工の近くは当時も禁漁だったのか良くとれた記憶があります。

岩木川統合頭首工と言う名称は、講演会でも宮川氏が紹介された昭和33年8月に発生した岩木川の洪水被害がきっかけで11堰が統合されたことにちなんだものとのことで、現在は老朽化と取水量の見直しのため改築されています。

私は昭和34年生まれなので、その頃は完成して間もない施設であったわけです。

② 戦後最大洪水

この昭和33年8月の岩木川の洪水被害は甚大なもので、11日～13日までの総雨量は四兵衛森で378mm、西目屋で308mmなど、死者・行方不明7人、浸水家屋は弘前市を中心に7千戸を超えるものでした（東北地方整備局監修・災害の歴史）。両親は当時の事を記憶しており、自衛隊のヘリが飛んできて家から人を救助したとか、橋は全て流され、対岸へはしばらくは舟で行き来したものだなど良く話していました。

目屋ダムの供用開始が昭和35年だったということを考えると複雑な思いがしますが、この洪水は、戦後最大洪水として直轄岩木川水系河川整備計画の中で上岩木橋地点の目標流量とされています。



S33年8月11日岩木川洪水状況

目次:

「ふるさとの川雑感」	P1
平成29年度活動報告 堤川を愛する会	P3
平成29年度活動報告 ジョイリバーおいらせ	P3
平成29年度活動報告 親しめる川づくりサークル	P4
総会・講演会	P5
「水辺で乾杯」	P5
水辺関心創造アクション	-P6
源流の地標柱建立活動	P6
河川技術講演会	P7
薦川清掃活動	P8
イワナの産卵床づくり	P8
日本海沿岸津波講演会	P9
平成30年度あおもりの川 を愛する会総会のご案内 事務局より	P9

ハイライト:

- ・融雪出水の恐ろしさ(P2)
- ・テーブルではなく、巨大なアップルパイです！(P4)
- ・今年もイワナの産卵が確認されました(P8)

③ 自宅の浸水被害

昭和50年8月6日、死者22名という大惨事となった蔵助沢土石流災害が発生した日のすぐ2週間後、同月20日に秋田県境から青森県津軽地方にかけて襲った大雨の影響で、弘前市、黒石市をはじめとする津軽地方は大きな被害に見舞われましたが、我が家でも岩木川の支川棚内川が氾濫し床上浸水の被害に遭いました。

川から200mほど離れているため、その当時まさか浸水するとは思ってもおらず、どこから水が来たかすぐには理解できぬまま、離れたところから自宅の中に入り込む濁水をただ呆然と見守るだけでした。

その後棚内川は、県による一定災で災害復旧事業が完了したのですが、それ以降は洪水被害が無く、現在、河川の改修によって安心して暮らせるありがたみを実感しているところです。

④ 融雪出水

平成9年5月8日、降雨と融雪による洪水で、開花したばかりのリンゴ園が冠水しました。

この時の目屋ダムへの最大流入量は歴代3位の1,037m³/s（1位は昭和36年4月5日の1,099m³/sこれも融雪）で、目屋ダムの貯水位はサーチャージ水位186mを超え最大で186.29mに達したもので、上岩木橋の橋桁すれすれに流れる洪水のすさまじさを目の当たりにしました。

下流では岩木川本川を中心に多数の河川管理施設が被災したのですが、当時私は弘前土木事務所で勤務しており、事務所の先輩方に災害のノウハウを教わりながら、地元の川の災害復旧に携わることができました。



H9年5月8日 目屋ダム貯水状況

⑤ ふるさとの川

平成28年10月には地元の人たちが待ち望んだ津軽ダムが完成しましたが、それまで56年の長きに渡り岩木川の治水・利水を担い、任務を全うして新しいダム湖に沈んだ目屋ダムの記憶もしっかりと刻みたいと思います。

津軽ダムの完成により、最近は特に上岩木橋から眺める夏場の水量が多くなったと感じながら、日々岩木川の右岸を通る通勤途中の車内から四季折々の美しい岩木山を背景にした岩木川の姿を見ることができ、ふるさとの川との思いを一層強くしています。



H30年2月25日上岩木橋から下流を望む

最後になりますが、ここまで駄文にお付き合い頂いたことに感謝するとともに、あおもりの川を愛する会の会員の皆様方の御健勝と益々の御活躍を祈念致しまして、私の巻頭のことばとさせていただきます。

●堤川を愛する会 平成29年度活動報告
サークルリーダー 東郷 克彦

平成29年度の活動といたしまして、「少しは社会貢献」の一環としまして、5月15日「葛川魚道改良施設の完成を祝う会」において、地元幼稚園児によるイワナの稚魚放流のお手伝いに参加させていただきました。園児の安全を最優先としながらも、園児とともに自然の中、イワナ稚魚の放流という貴重な時間を過ごすことができました。

又、夏には、全国一斉社会実験である水辺関心創造アクション「水辺で乾杯2017」の堤川版の実施。

秋（10月28日）には、当会の活動基本方針である「川と遊び」の一環として、恒例行事であります「堤川河口でのハゼ釣り」を開催いたしました。

参加メンバーそれぞれ、場所移動など繰り返し、その後の懇親会に向け努めましたが、動機が若干不純だったのでしょ、思惑外れ、まさかの全メンバーがボウズという結果に終わりました。（ただ前日の釣果を準備してくださいました）



今後、メンバー並びに関係者のご支援を仰ぎ、何よりコミュニケーションの場を多く設け「堤川を愛する会」活動を進めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

●ジョイリバーおいらせ 平成29年度活動報告
サークルリーダー 中野渡 悟

川下りを2017年7月29日に参加者32名で実施致しました。

当日は天気に恵まれ、前日に降った雨のため水量もまあまあで、途中潜り堰に乗り上げたりしながらなんとか全員無事にゴールできました。

昨年は豚汁を食べている最中、集中豪雨にあいましたが今年は最後まで良いお天気でした。

また毎年恒例の「おいらせ知の会」との合同植樹会も29名の参加のもと実施いたしました。



●親しめる川づくりサークル

平成29年度活動報告
サークルリーダー 南 直之進

平成29年7月15日(土)に岩木川水辺プラザにおいて、昨年同様中弘南黒建設協会と一緒に「川でふれあい建設フェア2017」を開催しました。

自然に触れ合う機会が少ない子供たちが、保護者と共に川と触れあえる機会を設けるための魚のつかみ取り競争と、建設業を身近に感じてもらうために、ものづくり体験コーナー、建設機械の展示と試乗体験を行いました。

今回は新たな取り組みとして、ゲームコーナーを設けスコップDEビンゴ・土のうで3キロぴったしカンカン・ネコぐるまお仕事体験などを行いました。子供たちが楽しみながら建設業を体験できたと思います。



当日は多くの家族連れが訪れ、用意した500匹のニジマスが悪戦苦闘しながら、歓声を上げて楽しそうに追いかけたり、高所作業車やタイヤショベルなどの建設機械も人気があり、特に高所作業車は長蛇の列となりました。



ものづくり体験コーナーは、木工体験・畳や和紙でのコースターづくり・ペンキでお絵かき、コテを使って壁塗り等親子で真剣に取り組んでました。また魚の串焼き・唐揚げ・巨大アップルパイ・アイスクリーム無料振る舞いなど、約700名の参加者から大好評でした。来年度も是非開催したいと思います。



●平成29年度 総会・講演会

あおもりの川を愛する会 事務局

平成29年度総会を青森国際ホテルに於いて開催しました。当日は日本河川協会常務理事萩原寿夫氏よりご挨拶をいただきました。総会終了後、前弘前市立図書館 館長 宮川慎一郎様が演題「岩木川と弘前の桜」の内容で講演会を行いました。（参加者49名）



佐々木会長挨拶



萩原常務理事



宮川慎一郎講師

●平成29年度 「水辺で乾杯」水辺関心創造アクション
あおもりの川を愛する会 事務局

水辺関心創造アクション（ミズベリング）が7月7日午後7時7分に行われました。当会も参加し各場所（堤川、官庁街通りせせらぎ水路、土淵川、浅水川、旧十川、田名部川）県内6箇所が集まって頂き川のほとりで乾杯致しました。（参加者 165名）



<堤川>



<土淵川>



<官庁街通りせせらぎ水路>



「水辺で乾杯」水辺関心創造アクション

<旧十川>



<浅水川>

<田名部川>



●平成29年度 源流の地標柱建立活動
あもりの川を愛する会 事務局

標柱の建立を平川市に流れる浅瀬石川の源流の地に標柱を建立しました。毎年1ヶ所、源流の地に標柱を建立しており、今年で12本目となりました。（参加者12名）

<大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、天田内川、浅水川、鳴沢川、十川、松館川、熊ノ沢川>



●平成29年度 河川技術講演会
あおもりの川を愛する会 事務局

五所川原市「オルテンシア」ふるさと交流圏民センターに於いて「河川技術講演会」を開催しました。
前参議院議員 脇雅史氏が演題「日本の治水事業」
国土交通省 東北地方整備局 河川部長 高村裕平氏が演題「東北の河川を取り巻く最近の課題」で行いました。
(参加者255名)



脇雅史講師



五所川原市 平山市長挨拶



高村裕平講師



三村知事挨拶



●平成29年度 蔦川（つたがわ）清掃活動
あおもりの川を愛する会 事務局

<平成29年9月2日（土） 於：蔦川>

第15回目となります蔦川（旧十和田湖町）の清掃活動を行いました。作業前に分別袋を渡し約1.5kmごみ拾いを行いました。当会としまして年1回の清掃・美化活動ですが、今後も継続し蔦川溪流に来て頂いた人に綺麗な川を見て頂きたいと考えております。
（参加者70名）



上北地域県民局挨拶



●イワナ産卵床づくり

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成29年10月6日（金） 於：蔦川>

蔦川の小溪流に今年で11回目になります「イワナの人工産卵床」を2ヶ所設置しました。11月27日に確認したところ産卵床の場所にイワナの卵が確認されました。（参加者12名）



産卵床



確認された卵（11月27日）

● 日本海沿岸津波講演会
あおもりの川を愛する会 事務局

<平成29年10月21日（土） 於：鱒ヶ沢町>



舞戸公民館（鱒ヶ沢町）に於いて演題「日本海沿岸の最大クラスの津波と地域の防災力向上について」の講演会を青森県と共催で開催しました。（参加者 176名）



● 平成30年度 あおもりの川を愛する会総会のご案内
あおもりの川を愛する会 事務局



平成30年度の総会を5月19日（土）に予定しております。総会後には、講演会の開催も予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。ご繁忙中恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

● あおもりの川を愛する会 事務局より

あおもりの川を愛する会

「あおもりの川を愛する会」は21年目を迎えることになりました。会員数は現在204名となっています。今年度も、会員の協力のもとさまざまな活動を行なう事が出来ました。これからは会の活性化が図れるよう、頑張っていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひいたします。

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL:017-729-0922

FAX:017-739-3561

E-mail:kon-h@nishidagumi.co.jp